



SIPリグニン事業で開発した改質リグニンを用いた3Dプリンター用基材(写真:SIPリグニン)

KYOTO Design-Labのデザインプロジェクト「成長の知性:付加製造のための自律的デザイン」のために開発したフィラメントで3D印刷した作品(写真:D-Lab)

KYOTO Design-Labのデザインプロジェクト「資源の再利用:パームファイバーから持続可能なデザイン素材へ」のために開発したフィラメントで3D印刷した椅子(写真:D-Lab)

プロフィール

- 3Dプリンター用材料の開発・製造・販売
- 3D印刷の設計から造形までのサポート・サービス
- 教育機関向けの3D印刷用資材、3Dプリンターの販売
- 材料開発の技術的な支援、材質評価の委託
- 機能性材料のオーダーメイド開発・製造
- 教育機関のデザインプロジェクトの技術的な支援
- 医療向けの機能性材料・製造技術の開発

会社概要

京都工芸繊維大学での研究活動をもとに、ネオマテリア株式会社は2016年に増谷一成によって同大学の大学発ベンチャーとして創立しました。ネオマテリアは創業以来、3D印刷の現在および将来の可能性を十分に活用することを目的としています。このため、3D印刷機用の新しい材料を開発するだけでなく、意匠、医療、製品開発の分野を対応した実際のプロジェクトで、その用途向けのカスタマイズされたソリューションを提供しています。

社内でのアプリケーションサービス活動や、京都の3DプリンターメーカーS-LAB、Kyoto D-LAB、農林水産省がコーディネーターするSIPリグニン共同研究開発プログラムなど、さまざまな企業や機関との協力・パートナーシップを通じて実現しています。

ミッション

ネオマテリアは新しい材料やその技術開発に応じて、安全でより快適な明るい未来を創り上げて行く任務としています。日常をちょっとでも快適にする作品から複雑な医療ソリューションまでの課題提案に応じて、質の高い価値をサポートしています。

技術の伝統

京都は最高水準の技術や革新の場としての長い歴史があり。また近年、起業家精神とイノベーションの国際ハブとしてのあでもあります。

京都に本社を置いているネオマテリアは、この職人技の伝統を継承して、地場企業と協力しながら、先端的技術の開発を進めています。

ポリシー

グローバル環境へのグローバルな意識がなければ、より良い未来を達成することはできません。当社の開発・生産から製品に至るまで、環境負荷のより小さな製品づくりやサービスの提供に努めています。

会社情報

ネオマテリア株式会社
〒612-8374 京都市伏見区治部町105
京都市成長産業創造センター
TEL: 090-5666-71363 (代表取締役 増谷一成)
email: neomateria.3d@gmail.com

改質リグニンを利用した3Dプリンター用基材の開発 と造形試作への展開

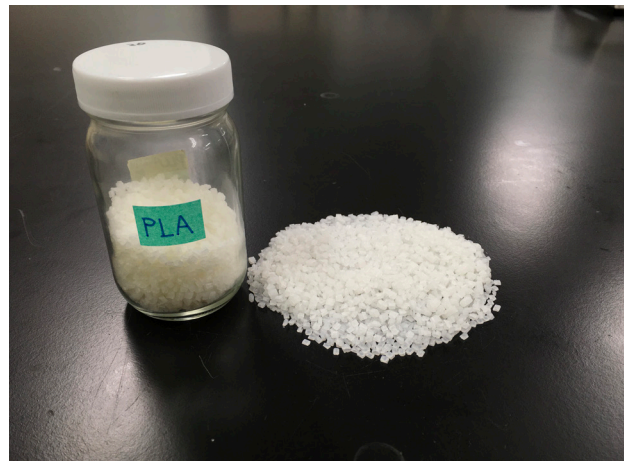
ネオマテリア株式会社

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術「地域のリグニン資源が先導するバイオマス利用システムの技術革新(SIPリグニン)にて協力支援機関として参画。

木材由来の新素材である改質リグニンと生分解性材料を組み合わせた環境調和型の3Dプリンター用基材を開発し、デザインや試作用基材として利用できる新たな素材を提案することができる。これにより、木質バイオマスの需要創出が可能となる。



改質リグニン



生分解性材料 (ポリ乳酸)

改質リグニンは、地域のスギ材から製造可能な加工性に富んだ新素材であり、森林資源を活用した新産業創出と地方創生への貢献の観点から期待されている。改質リグニンと生分解性材料を組み合わせた新たな環境調和型3Dプリンター用材料を開発した。この技術により、廃棄されている木質バイオマスを用いた3Dプリンター用樹脂材料への応用展開も可能で、生産に関わる新たなサプライチェーンを構築してことにより、木質バイオマスを利用した3Dプリンター分野における新産業の創出に貢献することができる。



3Dプリンター用基材



3Dプリンター造形品

会社情報

ネオマテリア株式会社

〒612-8374 京都市伏見区治部町105

京都市成長産業創造センター

TEL: 090-5666-71363 (代表取締役 増谷一成)

email: neomateria.3d@gmail.com



3Dプリンターフィラメント
ネオマテリア